

平成28年度 第4学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ☆「書くこと」についての能力を向上させたい。 ・書くこととすることの中心を明確にした文章を書けるようにしたい。 ・文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように文章を書く力を身に付けさせたい。 【工夫】 ☆教材開発の工夫 ・児童が関心のあることなどから書くことを決めるようにした。 ☆補助資料の活用 ・書く前に、構成メモを活用し、核となる部分(自分が一番伝えたいことや考え)などを明確にできるようにした。	☆指導目標の明確化と学習の見通し ・構成メモは「骨組み」であることを意識させるような支援や工夫をする。 ☆補助資料の活用 ・児童が段落や要点を意識した文章を書けるよう、児童の水準に合わせた例文を提示し、書くときの参考にできるようにする。 ☆相互の学び合いと手立て ・話し方の話形や話し合いの話形を示し、くり返し活動することで身に付けさせる。
社会	【課題】 ☆自ら学習課題を設定できるようにしたい。 ・教師側から主題を設定し、その中から自分で「学習課題」を設定し、学習計画に沿って学習を進められるようにしたい。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 ・児童にとって身近な題材を取り上げ、自分たちの住む生活舞台を扱えるようにした。	☆指導目標の明確化と学習の見通し ・児童が自ら調べよう、資料を集めようと思えるような導入ができるように工夫する。 ・児童が親しみをもって学習ができるように導入を工夫する。
算数	【課題】 ☆自ら学習課題を設定できるようにしたい。 ・自ら課題を設定でき、解決していく中で学びが深まるようにしたい。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・児童が提示した課題にどれだけの時間がかかり、どれだけ自分の力で解けるのか習熟度や考えの傾向などを把握するようにした。	☆指導目標の明確化と学習の見通し ・児童が親しみをもって取り組める問題提示ができるよう導入を工夫する。 ☆相互の学び合いと手立て ・自分で理解するだけでなく他者に教えたり説明したりする活動を毎回取り入れることで、表現力の向上と理解の定着を図る。
理科	【課題】 ☆既習の学習などを生かした学習問題の設定 ・これまでの学習や生活経験をもとに、それらを関連付けて自ら課題を見付け、予想をもてるようにしたい。 ☆実験技能の習得 ・それぞれの単元について用語や技能について正しく知り、正しい技能を習得できるようにしたい。 【工夫】 ☆導入や既習学習の効率的な振り返り ・導入での話し合いや活動によって、興味関心をもって学習問題を設定したり、追求する見通しをもったりすることができるようにした。	☆導入や既習学習の効率的な振り返り ・導入での話し合いや活動によって、興味関心をもって学習問題を設定したり、追求する見通しをもったりすることができるようにする。 ☆相互の学び合いと手立て ・小グループでの実験や観察をする活動を取り入れ、実験方法を相談したり教えたりしながら技能の習得を図る。
体育	【課題】 ☆協力、公正などの態度を育てるとともに健康・安全に留意し、最後まで努力して意欲的に運動する態度を育てたい。 ・自ら運動の課題の解決を目指す活動を行えるように工夫していきたい。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・約束事を決めたり、友達と協力したりして、課題をもって取り組むことを大切にしたい。	☆学習の見通しの明確化 ・学習カードを活用し、児童がめあてをもって最後まで取り組めるよう工夫・支援をする。 ☆集団での関わり合う機会の設定 ・児童が工夫した動きや行い方などをお互いが評価し合える工夫をする。
今年度の成果と課題 【成果】 【課題】		